

平成25年度 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 決算概要

1 財務諸表の概要

(1)貸借対照表

平成26年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	199.7 億円	固定負債	179.0 億円
土地	22.3 億円	流動負債	34.8 億円
建物	151.8 億円		
流動資産	170.3 億円	【純資産の部】	
現金及び預金	132.0 億円	資本金	108.6 億円
		資本剰余金	50.2 億円
		繰越欠損金	▲ 2.5 億円
計	370.0 億円	計	370.0 億円

(2)損益計算書

平成25年度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純利益を表示

収益総額	208.7 億円
営業収益	205.3 億円
営業外収益	2.3 億円
臨時利益	1.0 億円
費用総額	203.1 億円
営業費用	194.2 億円
営業外費用	7.0 億円
臨時損失	2.0 億円
当期純利益	5.6 億円
当期総利益	5.6 億円

* 当期総利益は、前期繰越欠損金と合算し、次期繰越欠損金として処理する。

(3)キャッシュ・フロー計算書

平成25年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	24.3 億円
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 17.8 億円
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3.5 億円
IV 資金増加額	3.0 億円
V 資金期首残高	19.0 億円
VI 資金期末残高	22.0 億円

(4)行政サービス実施コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 業務費用	7.3 億円
(1) 損益計算書上の費用	203.1 億円
(2) 自己収入等(控除)	▲ 195.8 億円
II 機会費用	1.0 億円
III 行政サービス実施コスト	8.3 億円

※各項目毎において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

2 収支の状況

(1) 収支概要

平成25年度純利益…… 561,343千円 →27,332千円(対前年度差額)
 (平成24年度純利益……534,011千円)

- ・収益については、入院・外来診療単価、入院・外来患者数の増加により医業収益が増加したため、前年度比で約7%増加となった。
- ・費用については、収益の増加に関連し給与費や材料費等が増加したため、前年度比で約7%の増加となった。
- ・収支差については、昨年度に引き続き黒字となり約5億6千万円となった。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H24年度	H25年度	H25-H24	対前年度比	参 考
収益	195.6	208.7	13.1	107%	診療単価 (H24) (H25)
営業収益	192.7	205.3	12.6	107%	入院 69,624円 → 72,644円
うち入院収益	134.6	141.6	7.0	105%	外来 14,527円 → 14,860円
うち外来収益	43.3	46.7	3.4	108%	
うち運営費負担金	9.1	9.7	0.6	107%	患者数 (H24) (H25)
営業外収益	2.8	2.3	▲ 0.5	82%	入院 192,695人 → 194,504人
うち運営費負担金	1.7	1.6	▲ 0.1	94%	外来 297,289人 → 314,349人
臨時利益	0.1	1.0	0.9	1000%	
費用	190.2	203.1	12.9	107%	一般病床利用率 (H24) (H25)
営業費用	182.8	194.2	11.4	106%	90.0% → 90.3%
うち給与費	85.2	90.9	5.7	107%	
うち材料費	50.5	55.5	5.0	110%	
うち経費	27.1	28.4	1.3	105%	
うち減価償却費	18.7	17.6	▲ 1.1	94%	
営業外費用	6.8	7.0	0.2	103%	
臨時損失	0.7	2.0	1.3	286%	
収支差	5.3	5.6	0.3	-	

※各項目毎において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

うち入院収益 (7.0億円増) 診療単価・患者数の増加、一般病床利用率の向上によるもの
 うち外来収益 (3.4億円増) 診療単価・患者数の増加によるもの

イ 営業費用

うち給与費 (5.7億円増) 職員の増員によるもの
 うち材料費 (5.0億円増) 医業収益の増加によるもの
 うち経費 (1.3億円増) 廃棄物処理委託料の増加及び修繕費の増加によるもの
 うち減価償却費 (1.1億円減) 本館建設時に導入した多くの医療器械の耐用年数の到来によるもの

ウ 臨時損失

保険請求に伴う返戻金の経理処理修正及び医療紛争に伴う損害賠償保険金の支出増加によるもの (1.3億円増)